

平成30年度

入学試験問題

学校法人 明星学園

浦和学院専門学校

看護学科

国語

(一般入試 Ⅲ期)

[注意事項] (試験が始まる前に読んでおくこと。)

- 1 受験票は机の上に表示された受験番号の横におくこと。
- 2 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 3 解答用紙に受験番号、氏名を正確に記入すること。
- 4 下敷の使用は禁止する。
- 5 試験終了時に解答用紙と問題用紙は別々に回収する。
- 6 試験終了後は試験監督の指示に従って行動すること。

※ なお、試験中に気分が悪くなった場合は試験監督に申し出ること。

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

さて、千利休、茶の湯、お茶室、侘びと寂び、そういったものに、これまで私はまるで関係がなかったし、関心もなかった。これは私だけでなく、最近の日本人のふつう一般の状態だろう。明治以前ならともかく、明治以後、私たちは西欧化の流れの中で生きている。私が生れたときはもうすでに、背広とスカートが服装の基本形となってから何十年とたっている。家はさすがに日本家屋で、畳の上に蒲団を敷いて寝ていたのだが、天皇御一家におかれては、すでに明治のときから日夜洋服をお召しになって、ベッドでの就寝を率先しておられるのである。近代西欧の強国に取り囲まれて、それに対抗していくには富国強兵とならざるを得ないわけで、そのためには日本も負けずに西欧合理主義と機械化を取り入れなければならない。戦争となれば、静寂なる無口は、合理のおしゃべりに負けてしまう。(a)

そうやって背伸びしてズボンを穿き、靴を穿き、ネクタイの締め方を一所懸命覚えようとしている日本の生活の中では、お茶室、侘びと寂び、千利休、といったものはなかなか聞えてこないのだった。それよりもその西欧化の流れ、合理のおしゃべりの流れに沿って、その最先端を見極めたいと、前方ばかり見ていた。千利休、侘び寂び、といった価値観のようなものが日本にあることは知っていたが、それは後方にあるものとしか思えなかった。後方を振り返ってもしょうがない。ひたすら前方へ、前方へ。

そうやって、芸術にも前衛芸術というものがあつたのである。私自身、前衛芸術青年だったからよく知っている。

A もつといい言葉はないものかといつも思う。前衛芸術といえば、どうしてもスターリン、レーニン、プロレタリア①独サイ、といった時代の雰囲気我代表してしまうのだ。そもそも前衛というのは軍隊用語である。戦時共産主義の色合いが濃厚である。それを芸術用語に採用したところに、**a** その時代の思惑があらわれている。

と、いまでこそ思うが、そのころの芸術青年にとって前衛という言葉は光り輝いていた。(b) 古いものを壊して新しいものを創り出す。周囲はすべて古いものに囲まれている。それを壊せば即新しいものがあらわれてくる。新しいものさえつかめば古いものを壊すことができる。そのために前方の光、西欧の光、つまりはおしゃべりな光だけを見ていて、ピカソ、ダリ、エルンスト、マン・レイ、デュシャン、といったカタカナ名の方ばかりを向いていたのだ。(c)

B 前衛芸術とは何かというと、芸術という言葉で代表される美の思想や観念といったものを、ダイレクトに**1** 感覚につなげようとする営みである。

その前に、芸術という言葉は近代のものであるが、芸術といわれるものの内実は、音、色、線、形、壺、模様、彫り物、話、歌、楽器、踊り、等々、さまざまな形に②分サンして日常生活の中にあつたのである。もちろんそれらは生活の中のたんなる楽しみであり、息抜きであり、腕自慢であり、時間潰しであつただけで、それはほとんど人類の発生と同時にあらわれている。むしろ数ある動物の中で、たんなる楽しみ、たんなる時間潰しに長けたものが、人類といわれるものに変化をとげてきたのである。そのたんなるものの中に、いずれ芸術として③デキ出される要

素が混じり込んでいたわけなのだ。腕自慢が究められ、時間潰しが究められてくると、bそれはかなり日常のものとは違う④様ソウを呈し、何か異様な刺激を人間に与えはじめる。すでに宗教の力を知っていた人間は、その日常から少し浮き上がった「表現物」というものを、宗教と重ねながら崇めはじめた。(d)

そのようにして、もとは日常生活に湧き出たものが、日常を離れた特異物件として、一段高いところに祭られるようになったのである。つまりそのようにして、人々は日常生活から芸術というものを掠め盗られた。そうやって芸術という概念は人々の頭上にあらわれてきたのだ。(e)

C 遠心分離機にかけられたようなものだろう。もとは渾然としたスープのようなものが、そこに分布する性質ごとに分離されて、それぞれに輪郭があらわれ、独自の形をあらわしてくる。宗教、芸術、哲学、経済、工学、政治、と分けて学ぶ大学があらわれたのは、西欧からだ。西欧は自主独立、分離分析の元祖なのだ。

それはともかく、芸術という概念があらわれたところで、すでにcその概念をUターンしようとする前衛芸術というものがあらわれていたのではないか。D 日常生活の原始スープから芸術という概念が分離独立したとき、それはふたたび日常のものへと降下しようとする力を内包していた。

具体的にいって、十九世紀にあらわれたd印象派の絵がその力だと思う。それまで人々の頭上へ頭上へと昇りつめようとしていた絵画というものを、一気に日常へ向け直したのである。それまでの絵といえはいずれも日常から浮き上がることで価値をもった。そこに描かれるのは必ず偉大なる人物であり、偉大なる事件であり、偉大なる風景であった。まれに日常の庶民の日常の姿が描かれることがあっても、それは偉大なる構図、偉大なるライティング、偉大なる瞬間をもつて描かれていたのだ。

その「偉大なる」ものを一気に消し去ったのが印象派の絵である。日常の何でもない風景の、日常の何でもない瞬間を、日常の何でもない光の中で描きはじめていたのである。それらはいつも見ているものなのに、それがそのまま絵画として描かれたことで衝撃を与えた。描かれたものの衝撃というよりも、それは「偉大なる絵」というものが壊されたことの衝撃であり、まったく新しく生れ出る日常の力を知ったのである。

(千利休 無言の前衛 赤瀬川原平より)

問一 点線部①～④のカタカナを漢字に直したときと同じ漢字を用いるものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 独サイ【解答番号は1】

- a 彼は昨日病院でサイ血した。
- b 私の母はサイ縫が得意だ。
- c それはサイ限なく続く話だ。
- d 開サイ時期は追って連絡する。
- e 来月サイ権者集会が行われる。

② 分サン【解答番号は2】

- a 辞書の編サンに関わった。
- b サン加することに意義がある。
- c サン橋とは人や荷物の乗り降りを目的とした橋である。
- d 長年の苦労があっけなく雲サン霧消した。
- e サン成の意を表明した。

③ テキ出【解答番号は3】

- a 遠くで汽テキの音が聞こえた。
- b テキ味方に分かれて戦う。
- c 場面に応じてテキ切なやり方が求められる。
- d 窓の水テキを拭きとった。
- e 間違いを指テキした。

④ 様ソウ【解答番号は4】

- a 彼の作品はソウじて面白い。
- b 彼女のソウ談に乗った。
- c 一人の尼ソウが住んでいる。
- d 昨夜、ソウ儀が執り行われた。
- e ソウ意工夫が求められる。

問二 空欄A～Dを埋めるのに最も適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。同じ記号は一度しか使えません。【Aは解答番号は5、Bは解答番号は6、Cは解答番号は7、Dは解答番号は8】

- a つまり
- b だから
- c いわば
- d しかし
- e そもそも

問三 本文のある箇所からは次の一文が抜けています。元に戻す場合に最も適当な箇所を(a)～(e)の番号で答えなさい。【解答番号は9】

へ 日本的なもの、千利休、侘び寂び、といったものは、退嬰的、老人的、趣味的世界としか映らなかつたのである。く

問四 傍線部 a 「その時代の思惑」とはどのような思惑ですか。説明するものとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は 10】

- a 軍隊用語を芸術用語に採用することで、日常生活の中にあるものと結びつけようとした。
- b 軍隊用語を芸術用語に採用することで、古いものを壊し、新しいものを取り入れようとした。

c 軍隊用語を芸術用語に採用することで、西欧化の流れを取り入れようとした。

d 軍隊用語を芸術用語に採用することで、芸術という言葉を光輝くものに見せようとした。

e 軍隊用語を芸術用語に採用することで、芸術に新たな風を取り入れようとしていた。

問五 傍線部 b 「それ」とは何を指しますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は 11】

- a 何か異様な刺激
- b 日常から少し浮き上がった「表現物」
- c 前衛芸術
- d 人類の発生
- e 宗教

問六 傍線部 c 「その概念」とは何を指しますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は 12】

- a 芸術とは宗教なくしては存在し得ず、崇めるものであるとする概念。
- b 芸術とは日常を離れ、一段高いところにあるものだとする概念。
- c 芸術とは日常生活に密着したものであるとする概念。
- d 芸術とは西欧が祖であるとする概念。
- e 芸術とは分布する性質ごとに分離して把握すべきものであるとする概念。

問七 空欄 1 にあてはまる語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は 13】

- a 日常

- b 非日常
- c 表現
- d 芸術
- e 宗教

問八 傍線部d「印象派の絵」を説明するものとして、あてはまらないものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は14】

- a 人々の頭上へ昇りつめようとしていた絵画を日常へ向け直した。
- b 「偉大なる」ものを一気に消し去った。
- c 日常の庶民の日常の姿を偉大なる構図で描いた。
- d いつも見ているものをそのまま絵画として描いた。
- e 「偉大なる絵」を壊したことの衝撃を与えた。

問九 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。【解答番号は15】

- a 芸術という言葉は現代のものであり、形を変え、日常生活の中にあった。
- b 日常から少し浮き上がった「表現物」を宗教と重ねることで崇め、それが結果的に前衛芸術となった。
- c 印象派の絵画は日常の何でもない風景を非日常と共存させることを可能にし、衝撃を与えた。
- d 日本は西欧に対抗するため西欧合理主義と機械化を取り入れたことで侘び寂びの精神を失ったままである。
- e 芸術は日常生活から概念が分離されて発生したもので、印象派の絵画はそれを一気に日常へ向け直すものであった。

二 次の①～⑩の熟語の構成をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 貴賓【解答番号は16】 ② 鶏鳴【解答番号は17】

③ 耐震【解答番号は18】 ④ 硬軟【解答番号は19】

⑤ 慶賀【解答番号は20】 ⑥ 遅刻【解答番号は21】

⑦ 妄想【解答番号は22】 ⑧ 興亡【解答番号は23】

⑨ 哀愁【解答番号は24】 ⑩ 墜落【解答番号は25】

- a 同じような意味の漢字を重ねたもの。
- b 反対または対応の意味の漢字を重ねたもの。
- c 上の字が下の字を修飾しているもの。
- d 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。
- e 主語と述語の関係にあるもの。

三 次の熟語の対義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 異端【解答番号は26】 ② 陰鬱【解答番号は27】

③ 人為【解答番号は28】 ④ 虚構【解答番号は29】

⑤ 模倣【解答番号は30】

- a 明朗 b 自然 c 正統 d 現実 e 創造

四 次の熟語の類義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 界限【解答番号は31】 ② 懸念【解答番号は32】

③ 歴然【解答番号は33】 ④ 変遷【解答番号は34】

⑤ 斡旋【解答番号は35】

- a 仲介 b 付近 c 心配 d 明白 e 推移

五 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 阿□叫喚【解答番号は36】 ② □蓮托生【解答番号は37】

③ 秋霜□日【解答番号は38】 ④ 理□曲直【解答番号は39】

⑤ 和洋折□【解答番号40】

- ① a 鼻 b 目 c 口 d 耳 e 頭
- ② a 一 b 十 c 皆 d 全 e 無
- ③ a 列 b 劣 c 烈 d 裂 e 埒
- ④ a 路 b 非 c 人 d 道 e 解

- ⑤ a 中 b 柱 c 注 d 仲 e 衷

六 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 蓼食う□も好き好き【解答番号は41】
- ② 雀の□【解答番号は42】
- ③ 鳩に□枝の礼あり【解答番号は43】
- ④ 虎の□を踏む【解答番号は44】
- ⑤ □馬に乗る【解答番号は45】

- ① a 猫 b 犬 c 蛇 d 鳥 e 虫
- ② a 涙 b 羽 c 口 d 親 e 頭
- ③ a 一 b 二 c 三 d 四 e 五
- ④ a 尾 b 足 c 腕 d 背 e 頭
- ⑤ a 良 b 悪 c 牛 d 尻 e 腹

七 次の①～⑤の傍線部の活用の種類として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を何度用いても構いません。

- ① 誰もいない部屋の電気は消さなければならぬ。【解答番号は46】
- ② 包丁で切る時は十分に気を付けて。【解答番号は47】
- ③ 映画に出ていた彼女は美しかった。【解答番号は48】
- ④ 二人の発言が同じなら間違いない。【解答番号は49】
- ⑤ 何か書くものをください。【解答番号は50】

- a 未然形
- b 連用形
- c 終止形
- d 連体形
- e 仮定形